

対象年度	平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート					
事務事業名	合併処理浄化槽等設置事業					予算事業名	合併処理浄化槽等設置事業費	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令
			04	02	01	2001	経常経費	
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)					事業の区分	主要事業	
	2-6地球環境にやさしいまちづくり(環境保全・排水処理)						生活環境課	
	④生活排水の適正な処理					担当課係等	環境保全係	
事業期間	継続 (平成3年度～平成33年度)							
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】					【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
設置者の良好な生活環境の保全確保と、公共水域の水質汚濁防止を図る。					自然環境の保全、河川水質の汚濁防止を図る必要があるため、生活排水対策として合併処理浄化槽設置の推進を図る。また、近隣市町村でも概ね実施されているようである。			
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】					【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】			
浄化槽法に基づき設置された、下水道認可区域・農業集落排水事業区域・尿処理施設整備事業計画地域(コミュニティプラント整備計画地域)外において、合併処理浄化槽設置者に補助金を交付する。 5人槽 294,000円 7人槽 342,000円 10人槽 459,000円 既設単独処理浄化槽撤去費 90,000円 (上記合併処理浄化槽設置に伴う場合のみ)					下水道認可区域・農業集落排水事業区域・尿処理施設整備事業計画地域(コミュニティプラント整備計画地域)外の市民 【事業をとりまく環境の変化】 近年、申請数が目標値に届かないことがあり、補助する基数が減少傾向にある。			
【平成31年度 事業内容】			【平成32年度 事業内容】			【平成33年度 事業内容】		
下水道認可区域・農業集落排水事業区域・尿処理施設整備事業計画地域外において、合併処理浄化槽設置者に補助金を交付する 5人槽 294,000円 7人槽 342,000円 10人槽 459,000円 既設単独処理浄化槽撤去費 90,000円			下水道認可区域・農業集落排水事業区域・尿処理施設整備事業計画地域外において、合併処理浄化槽設置者に補助金を交付する 5人槽 294,000円 7人槽 342,000円 10人槽 459,000円 既設単独処理浄化槽撤去費 90,000円			下水道認可区域・農業集落排水事業区域・尿処理施設整備事業計画地域外において、合併処理浄化槽設置者に補助金を交付する 5人槽 294,000円 7人槽 342,000円 10人槽 459,000円 既設単独処理浄化槽撤去費 90,000円		
■事業費								
財源内訳	国庫支出金		H29年度	5,260	H30年度	8,920		
	県支出金			5,489		9,520		
	地方債			0		0		
	その他			0		0		
	一般財源			5,178		8,320		
歳入計(千円)				15,927		26,760		
歳出内訳	節(番号+名称)		金額(千円)		金額(千円)			
	19 負担金補助及び交付金		15,927		26,760			
歳出計(千円)(A)				15,927		26,760		
伸び率(%)						68.01		
備考	総合計画 91ページ 予算書 108ページ							

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	HP・広報誌への掲載件数	件	目標	3.00	3.00	3.00
	合併処理浄化槽の周知及び維持管理の徹底について		実績	3.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	合併処理浄化槽設置費補助基数	基	目標	80.00	80.00	80.00
	5人槽・7人槽・10人槽の合計補助基数		実績	49.00	0.00	0.00
	単独処理浄化槽撤去基数	基	目標	20.00	20.00	20.00
	単独処理浄化槽撤去基数		実績	6.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	公共用水域の水質保全の観点から必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	法的な問題もあるため、行政が行う事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の実施方法が一般できてあり、特に問題はない。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	現状での問題はない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	目的とした対象者に対して、概ね広く便益を提供している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	単独処理浄化槽や汲み取りから合併処理浄化槽に変えることで、公共用水域の水質は向上している。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	概ね目標（計画）値に近い基数の申請がある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
概ね目標水準に達している。今後も公共用水域の水質汚濁防止の向上に努める。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
合併処理浄化槽の周知及び維持管理の徹底を市ホームページや広報紙を利用して周知する。また、補助対象地域内における補助制度の活用促進についても併せて周知する。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）</p> <p>自然環境の保全，河川水質の汚濁防止を図るためには，生活排水対策として，合併浄化槽の設置を推進することが不可欠である。補助制度及び適正な浄化槽の維持管理の必要性を周知を図る。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>